

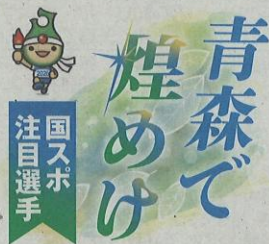
恩返しへ「必ずメダル」

自転車女子トラック出場の室谷（^ハ₂学大年）

離脱経て「今が一番楽しい」



周囲の期待に応えるためメダルを取ると誓う室谷（9月中旬、八戸自転車競技場）



「今が一番自転車を楽しんでいる」と思っている。あおもり国スポの自転車女子トラックに出場する室谷（八戸学院大2年）は、実感を含めてこう切り出した。国内トップの実力を有しながら、昨秋に心身のバランスを崩して一時戦線を離脱。ブランクを経て8月に復帰すると、いきなり表彰台に立ち健在ぶりを示した。空白期間は「周りにもつたないと言われたが、自分にとってはベストな選択だった」と室谷。「国スポでは全力を尽くして必ずメダルを取る」と力強く宣言する。

（小嶋嘉文）

競技を始めたのは青森商高時代。OBである父の存在もあり、才能はすぐに開花した。全国規模の大会で次々と表彰台に上ると、3年時にはインターハイで2000点個人追い抜きとケイリンで優勝を飾った。八学大に進学後も勢いは止まらない。昨年は全日本学生選手権女子1キロタイムトライアル、スプリントで1年生ながら2冠を達成。全日本選手権の女子エリート1キロタイムトライアルでは、並み居る強豪を抑えてトップでフィニッシュするなど、誰が輝かしい未来を信じて疑わ

やかな時間を過ごしながら、自分自身を見つめ直した。自転車への思いが少しずつ湧き始めた今年3月、筋力トレーニングを再開。3カ月後の6月にトラックに戻った。当初は練習についていけなかったが、バンクの感触を確かめながら、徐々にかつての動きを取り戻していった。復帰から2カ月後に挑んだ8月の全日本大学対抗選手権では、チームスプリントのメンバーとして銀メダル獲得に貢献。個人では、1キロタイムトライアルで5位入賞を果たした。「動きとしてはまだ7、8割ほどだが、タイムでも納得のいくものとなり、自信がつく大会になった」

国スポ本番は目前に迫るが本人に焦りの色はない。「以前より落ち着いて自分のことを考えられるようになったし、練習にも集中して打ち込んでいる」と胸を張る。

生活も見直した。自身で食事を管理し、体重の増量を目標としたメニューを日々考えている。「料理は好きなので、気持ちを切り替えるには重要な時間になっている」と笑みを浮かべる。

「期待をされていることは自分でも分かっている。それに応えられるよう、結果で恩返しをしたい」。新たに手に入れた強さをトラックで証明する。

※随時掲載